



# 「新しい海の土地」ニューージーランドのワイン! New Zealand

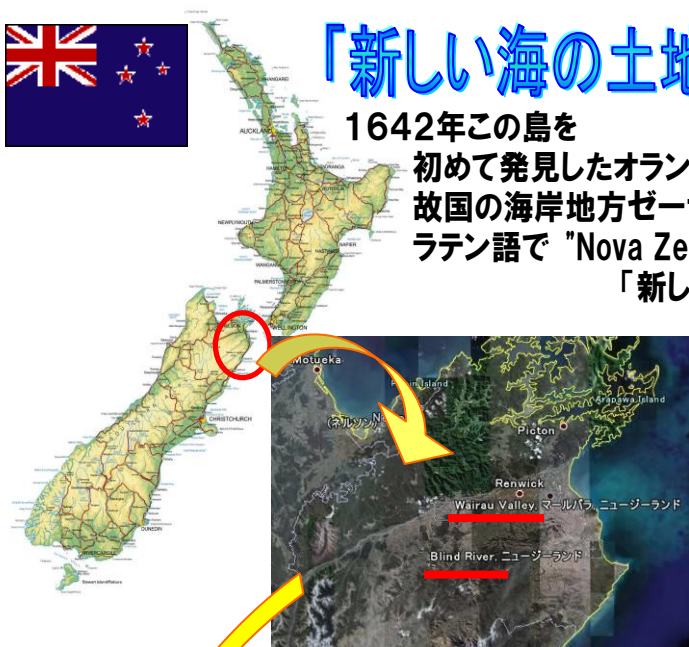
1642年この島を

初めて発見したオランダ人が、  
故国の海岸地方ゼーラント州の名をとって  
ラテン語で "Nova Zeelandia"

「新しい海の土地」が由来です。

「新世界ワイン」

として注目を集めているニューージーランド。この国の  
ワインの歴史は、続々と入植したヨーロッパ人の手によって幕を開けます。1819年、  
イギリス人の宣教師サムエル・マースデンが、オーストラリアから持ち込んだ様々な  
葡萄の苗を、北島のケリケリという土地に植えたのを皮切りに、1833年にはオーストラ  
リアワインの父と呼ばれるスコットランド人ジェームス・バズビがフランスやスペイン原産の  
葡萄品種を植え付けています。しかし、その後のニューージーランドワインは、フィロキセラ  
やウドンコ病の打撃、禁酒法、ウィルス病等の苦難に次々にさらされ、低迷を続けます。  
その歴史が一気に明るく転換したのは、1970年代、南島マールボロ地域でヨーロッパ系の  
葡萄品種ソーヴィニオン・ブランが大成功してからでした。産地ならではの個性あふれる  
味わいに醸されたその白ワインは、世界で高く評価され、一躍脚光を浴び始めました。



「colorful(カラフル)」を意味するマオリ語の女の子の名前♪

アローナ

# ARONA



Barker's Marque  
VINEYARDS

# Marlborough

造り手：Barker's Marque (バーカーズ・マーク)

バーカーズ・マークは、エドとサイモンの兄弟が所有するワイナリーです。サイモン・バーカーと  
妻ヴァネッサがニューージーランドのブドウ園で生み出す高品質のマールボロソーヴィニオンブランのワインを  
兄弟であるエド・バーカーが、マサチューセッツに住み、米国の顧客に販売していくというスタイルをとっています。

## サイモン・バーカーと妻ヴァネッサ

サイモン・バーカーは、マールボロに落ち着く7年前まで、  
ナパ、サンセール、ラングドック、ギリシャ、イングランドにて  
ワイン造りを行っていました。  
彼がマールボロでソーヴィニオンブランを作るのは、  
ワイナリーよりもブドウ園でワインが「造られる。」ことを感じたからです。  
また妻のヴァネッサ・バーカーは「ブドウ園でワインを造る」ために  
サイモンと働く、家族のブドウ園の開発に対して責任のある、  
経験豊かなブドウ栽培家であって、かけがえのない存在です。



## エド・バーカー

エド・バーカーは、マサチューセッツにて  
グリーンジ社(米国の輸入業者)をパートナーに、  
サイモンとヴァネッサが作ったワインの  
営業・マーケティングを行っています。



**明るくて、親しみやすい元気に溢れたこの「カラフル」なワインはまるで  
そのワイン名とニューージーランドの損なわれていない自然遺産の南島をそのまま表現しているよう！  
素晴らしい豊かなバランスは、世界的に有名でもあり印象の強い、  
伝統的なマールボロのソーヴィニオンブランの  
パッションフルーツやパイナップルの香りに上質のハチミツ香がミネラル感を感じさせてくれます。  
また、柔らかく熟した果実味はフレッシュ&グリーンさと上品さが見事なバランスを醸せます。  
フィニッシュは干草のニュアンスやパイナップルの香りが戻ってくるのと同時に  
心地よい酸味が長く続きます。**

## 産地：マールボロ地区

(ワイラウ・ヴァレー、ブリンド・リヴァー)

ニューージーランドは冷涼で穏やかな気候が続く一年の寒暖差の少ないが「一日の中に四季がある」  
と言われるほどに昼夜の気温差が激しい国で、特にマールボロ地区のワイラウ・ヴァレーは、  
ニューージーランド最多日照時間の町 Blenheim(ブレナム)を囲む地域なので  
昼間はしっかりと太陽の光を吸収し、夜は涼しい気候で葡萄はゆっくりと熟するため、  
凝縮した葡萄が育つという気象条件と川底跡なので、砂利や小石が多くため優れた排水性を持つ  
土壌でもあり、葡萄栽培には理想的な環境なのです！！



**葡萄品種**  
ソーヴィニオン  
ブラン87%  
リースリング13%

JAN: 857098003006

**KOTO CORPORATION** ポルフィディオ正規販売店

〒662-0862 兵庫県西宮市青木町3-12 (株)コートーコーポレーション

TEL:0798-71-0030 FAX:0798-71-0033

担当：